

泌尿器科

当科は、非常勤医師 3 名体制で診療しています。

今回は当院の症例としても多い排尿障害についてお話しします。

排尿障害とは膀胱に尿を溜める機能や、尿を体外に排出する機能が障害された状態のことをいいます。具体的には夜間の頻尿、日中の頻尿、尿意の亢進、尿失禁、尿勢の低下、残尿感などで症状を自覚することができます。原因として多いのは男性の前立腺肥大症ですが、高齢化により脳卒中などの脳血管障害、神経障害に伴うケースも増加しており、女性の生殖器の下垂、また原因不明のものなどさまざまな病気が原因となりえます。

泌尿器科ではまず外来で診察や検査を行います。排尿しづらい場合は（尿道から管を入れて膀胱に溜まった尿を外に出す操作を行います。）、感染を起こしている場合、がんが疑われる場合、この様な時にはご入院いただくこともあります。